

楽しく幸せな経営者のために。

(株) サポートプロ 西田光弘



はじめに～HPから

- 情報洪水 の中で【無理せずがんばらず楽しく幸せな経営者になる】には？
→ がんばれば、がんばるほど辛そう、その謎・・・なぜ経営が上達しないのか？
- 正しい情報を縦横無尽に偏り無く大量に摂取する＝誰にとって、正しいのか
- 【マスメディアが作り上げた「虚飾」の未来像や
国家にとって都合のいい「国民として幸せ」な未来像】

ショウペンハウエルの『読書について（岩波文庫）』

- 「つまり自分の思想というものを所有したくなくれば、
そのもっとも安全確実な道は暇を見つけしだい、ただちに本を手にする事である。」
- 「読書は言ってみれば自分の頭ではなく、他人の頭で考えることである。
絶えず読書を続けていけば。仮借することなく他人の思想が我々の頭脳に流れ込んでくる。」

一緒に考えていきましょう。

こんな話は聞いたことがないか？

- 道具は使いこなせるかどうか？
～ 使う人の問題だ
- 包丁 人も殺せるしおいしい料理も
- ネット 炎上して抹殺も、レバレッジも
- iPhone、ネット依存にも情報リーダー
- 今、情報があふれているけれど、結局使いこなせる人が勝てる
- また、その道具からどんな「内容（情報の質）」を手にするか？
情報洪水をどう泳ぐかにかかっている、ですよ？

また、こんな当たり前についても考えてみましょう・・・

マルチタスクの時代

- 今の標準的な仕事の仕方
- マルチタスク
 - なぜ、マルチタスクが進化してきたのか？
 - 昔のパソコンは不便 → 例えば、iPodというメディアの使い分け
- それは便利だから。そうでないものは不便、、、ですよね？
- メールすぐ巡回する、ネットサーフィン、多様なメディア
- それが効率がいいからだし、そこに「知」はあるから、ですよね？

マクルーハン

- 『メディア論』 / マーシャル マクルーハン
- 「テクノロジーの効果は意見や概念レベルで生じるのではない」と言っている。
- 「メディアが魔法をかけるのは、神経系自体にかける」と。

しかし・・・一般的には「テクノロジーは重要ではない
それらの価値を決定をするのは使用方法だ」と。

本当に使用方法さえ、熟達すればいいのか？



脳の可塑性

- 脳は完成していない～どんどん変化する
 - バイオリン 左手領域が大きい 右手は知がない
 - 指を失った少年 鼻の下
 - 右脳損傷 左手左足を同じアクション
 - タクシー 空間野 長い 大きい
- これはどういうことか・・・

脳は・・・

- 脳の特徴をまず理解する
- 強い回路はより強まる
- 弱い回路は弱まり消滅する
- 使用されない回路は取り除かれ再利用される
- 二番目によいモノに
- 変化した後の状態にしがみつ়く

道具の影響

■ 例えば

- ・ 農家の人は農具に
- ・ 彫刻の人は彫るための道具に
- ・ 科学者は顕微鏡に

- 「道具の問題ではない、使う人の問題だ」と考えるが・・・
→ 道具は、脳の回路に対して多大な影響がある

果たして道具は問題でないか？

- 話し言葉（という道具）
 - 無文字文化や幼児や前時代の暗唱～記憶の内部性
- 書き言葉（という道具）
- → 記憶の外部化
 - = 「知」ではなく知を有している・・・
 - = 浅い思考 = 知的深みへの到達は妨げられる
 - = 無文字社会 をもう実感できない
- 「道具が問題ではない、使い方だ、」なのか？

本・ネット接続と脳

- 本 = 本というメディア
→ 直線性、静か、深い集中
- コンピュータ等 = マルチタスク関連メディア
→ 効率的な仕事・判断の連続 = (思考ではなく意志決定)
 - ・ 同じ動きの繰り返し → 異なる脳を作り出している
 - ・ 頻繁に使われる特定のプロセスを強化
 - = 発火しないニューロンはつながらない
 - = 深く読んだときの結合は停止する。停止した神経回路は・・・
弱まる・崩壊・(他の機能で)再組織化

自分の仕事というプロセス

- 仕事をうまくいかせる・成功するためには？
 - 特定の範囲に選択と集中
 - プロフェッショナル となりその「差」がお金に換わる
 - . . . ということは脳は頻繁に同じことを繰り返す
- 使わない脳の部分は弱まり、取って代われ再組織化する

もう少し大きな背景

- フォーディズム = 生産ライン → スペシャリスト化
- マンガは？本は？雑誌は？
- ここまで、細分化され、スペシャリスト化しているのか。
- 国・メディアは？
→ 成功パターンだった。

ここまで整理すると・・・。確かに「使う人の問題」だが・・・

- 違う意味で道具が問題なのではない・・・ 「弱まる回路」
- ↓

脳は・・・

- 脳の特徴
 - 強い回路はより強まる
 - 弱い回路は弱まり消滅する
 - 使用されない回路は取り除かれ再利用される
 - 二番目によいモノに
 - 変化した後の状態にしがみつく
- だとすると・・・

そうでない仕方

- ずっと使ってきたし、これからも
 - ・ PC型/ネット接続型 - そうでない仕方
 - ・ 今の仕事の仕方～プロ型 - そうでない仕方
 - ・ 世の中の細分化の流れ - そうでない在り方
- 弱まっている「道」に情報を流さないことには・・・
- あなたと同じ仕事の仕方、同じ世の中にいたら「ビジネス的優位性」をつくれるだろうか？

そうではない仕方によって

- あなたと同業種の人・会社は・・・？
→ 差異を生み出して、ブルーオーシャンに
- つまり 疲弊しない
- ずっとやり続けられる

「そうでない仕方」はどこにある？
どういう風にする？ 道具？

・・・ 今と同じ学習の仕方「内容」に気をつける？

杭を広げようと思っても

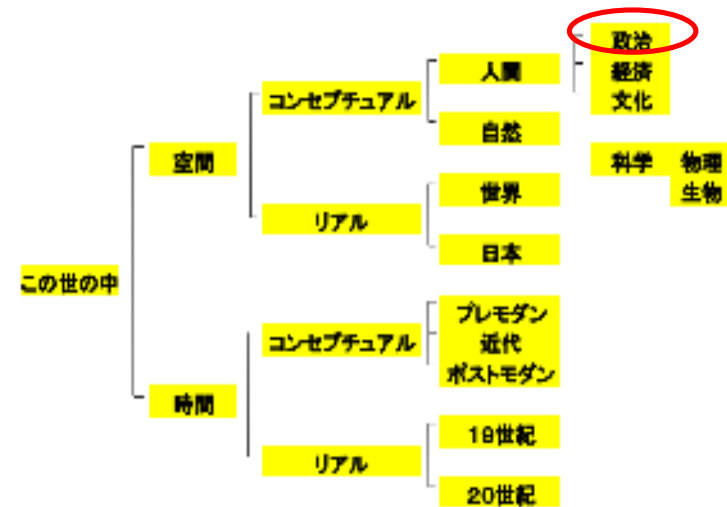
- 学習とは未知と既知をつなげること
 - ・ 良い点
 - 知識の強化にはなる、一方で、、、、
 - ・ 悪い点
 - 常に自分の領域に引き込むので強化する
 - 「杭」に囲まれた面積が自分の知の領土と可能性
 - → 杭の外のものはない。無いから利用できない
 - 何をどのように思考するか？
 - 最大の力を及ぼすのは知的テクノロジー（道具含む方法等すべて）
- 今の学習法を続ければ・・・杭を広げようと思っても

「広げる」よりも拡がる

- 試しに八重洲ブックセンターに行ってみる・・・買った本は
- 西田の体験
 - 難問：しかし拡げる対象がわからない＝ 鶏卵
 - 強引に拡げないと拡がらない
 - 船頭が必要・・・とはいえ、世の中にはたくさんの知を持った人がいる
 - どんな人の知を真似ると「拡がる」のか
 - 大前さん？ ゴーンさん？ 著名経営者？
- 2STEPで、いくことをお勧めしている。

それが情報ブッフェ

- 頭のマップと「ビジネスOS」を意識する



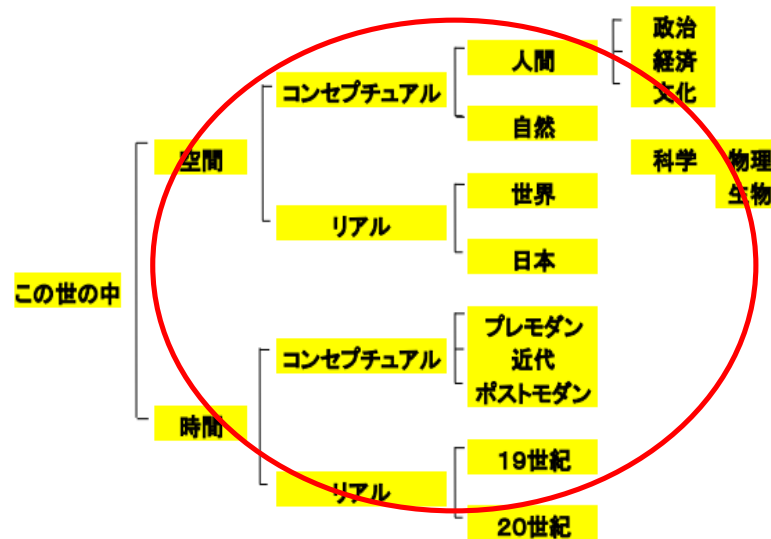
- 自分の「地図」ができる。
 - 自分が必要とする非ビジネス情報がわかる

具体的には？

- 経営における杭の外 → 日本経営合理化協会
- 思考における杭の外 → 本

★ 毎月の具体的な方法として

- リアルの会
 - ・ 経営勉強会と読書会
- 音声
 - ・ 経営勉強会で扱った音声
 - ・ 読書会の音声



具体的には・・・

日本経営合理化協会～セミナー

■ 日本経営合理化協会 とはなんなのかな？

例：

「社員がワクワクして仕事をする仕組み」を8ヶ月間で完全導入
1社につき105万円(税込)

『事業』『人生』『蓄財』成功してしまう本当の脳の使い方
お一人様88万円(税込)

「伝説の外資トップ」が教える会社を伸ばす『幹部の条件』 / 新 将命氏

日本経営合理化協会～書籍・教材

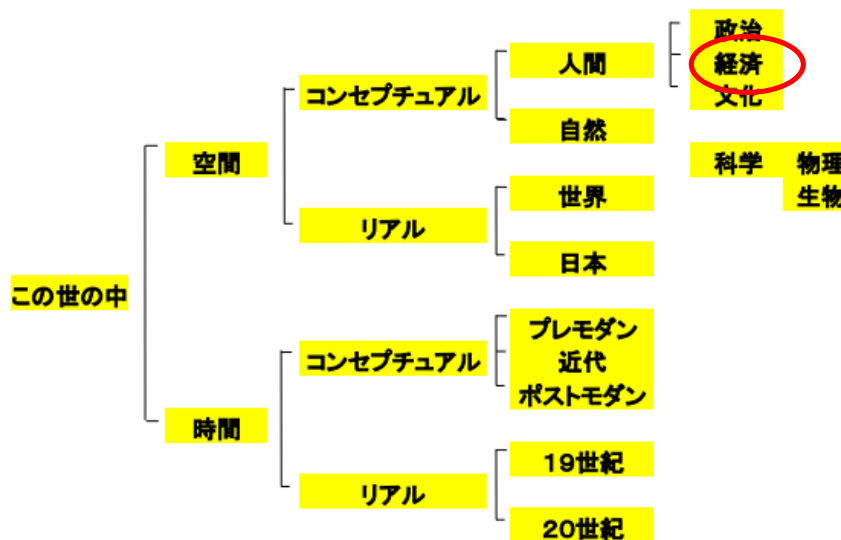
- リピート倍増実例集
- 後継者の鉄則
- 人蕩し術
- 社員がワクワクして仕事をする仕組み
- 君に成功を贈る
- 成功の実現
- 盛大な人生
- 心に成功の炎を
- 戦略BASiCS「顧客攻略」編
- 地上最強の商人
- 盛運の気
- 儲かるようにすべてを変える
- 価格の決定権を持つ経営
- 通販成功マニュアル
- 成長の原理
- 一倉定の経営心得
- 第1巻 経営戦略

読書は毒からの脱却

- 『新書 アフリカ史』
→ 「間接統治」を応用してビジネスモデルを変えた人がいる。
- 『日本辺境論』
→ 「きよろきよろしているビジネス」を強みにした人がいる。
- 『からくり民主主義』
→ TPPをビジネスに取り込んだ人がいる
- 『自由とは何か？』
→ 英語のビジネスモデルの教材のコンセプトをやり直した人がいる
- 『ダーウィンの悪夢・DVD』
→ 資本主義のつぼを掴んだ人がいる
- 『教養としての大学受験国語』
→ 差別化・ビジネスの意味がわかった人がいる
- 『ギフトーエロスの交易』
→ プレゼントの本当の意味を知った人がいる

どちらもシナプス発火

- シナプスの発火による回路づくり
- 仕事も人生も広い参照情報
- 深い思考のもと、豊かになっていく
- 継続することが大事



再度、考える。

- あなたと同業種の人・会社は・・・？
→ 差異を生み出して、ブルーオーシャンに
- つまり 疲弊しない
- ずっとやり続けられる

早く始めて長く続ける、淡々と

- この情報ブッフェは、継続が一番大事です。
- やめれば、今の社会的環境・ビジネスツールの環境・成果への環境が
- 今の脳の回路を強化し続けます。
- 西田が儲けるために辞めないでね、って言っているわけではない。
- 決して出会えない情報にブッフェで出会ってみてください。

※ ブッフェでは、西田がいろんな範囲から情報を摂取・出力しますので個々人の専門分野に素人レベルで言及するときもあります。その際には間違いや浅い理解で話すこともあると思います。正確に理解することが正しい場合もありますが、この情報ブッフェでは二義的です。ご本人以外が「枠の外」として新しい情報に触れて、脳の回路が発火した、それが重要です。ご了承下さい。

新しい世界へ



それでは、ここから始まりますが、遅々と進まないかもしれません。
しかし、しばらく経ってから振り返ったら・・・

(株) サポートプロ 西田光弘 拝